

八丈島 水産だより

6月号
2016



島じまん八丈ブース



田植え作業の様子

6月に入り関東地方もいよいよ梅雨入りしました。これから、じめじめした日が続きますがしばらくの我慢です。さて、5月21日に、田植え体験が行われました。泥まみれになりながら、大人も子供も一緒になって苗を植えました。今から秋の稲刈りが楽しみです。豊作を祈りましょう！ また、5月28日・29日に港区竹芝で「島じまん2016」が開催されました。漁協女性部による島寿司4,000食も好評につき完売！ 会場で召し上がった方もいるのでは！！

■ 最近の漁模様



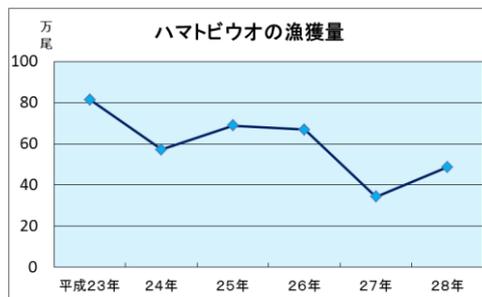
ハマトビウオ



トビウオ春巻き、コロケ

今年のトビウオ漁は5月中旬に終了しました。漁獲量は約50万尾と昨年より多かったものの、それ以前と比べるとまだまだ少ない状況です。今年はトビウオが島周辺に寄ってくる時期が遅く、漁に出る機会が少なかったことが理由としてあげられますが、なぜ遅くなったかはよくわかっていません。

トビウオは漁協女性部が作る学校給食用のミンチや島で販売するコロケや春巻きなどの材料としても重宝されている魚なので、来年はもっと多く獲れることを期待しましょう！



■ 2年振りのおがさわら丸

八丈島寄港船が6月4日、大勢の島民に見送られ底土港を出港しました！ 昨年は悪天候により接岸できなかったため、2年振りのおがさわら丸です。なお、現在利用されている「おがさわら丸」は、この6月をもって引退します。1997年3月の就航から19年、東京一父島間を1195往復しました。長い間お疲れさまでした！



底土港に入港するおがさわら丸